

当院における感染症BCPの取り組み

KKR札幌医療センター 感染管理室
感染管理認定看護師 楠美 恵子

KKR札幌医療センター概要

急性期病院 病床数 : 410床

診療科数 : 25診療科

職員数 : 792名

令和7年年度4月1日現在

1日平均外来患者数 : 896名*

1日平均入院患者数 : 323名*

平均在院日数 : 10.2日*

年間手術件数 : 4,227件*

* 令和6年度実績

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

紹介受診重点医療機関

救急2次告示病院

札幌市災害時基幹病院

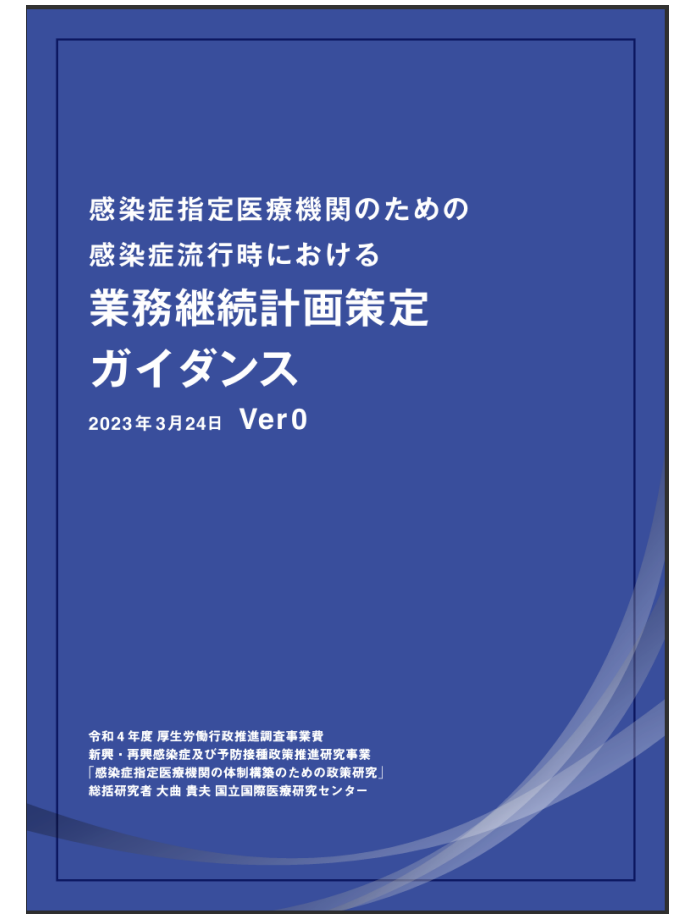
感染対策向上加算1

第一種協定指定医療機関

BCP; Business Continuity Planとは

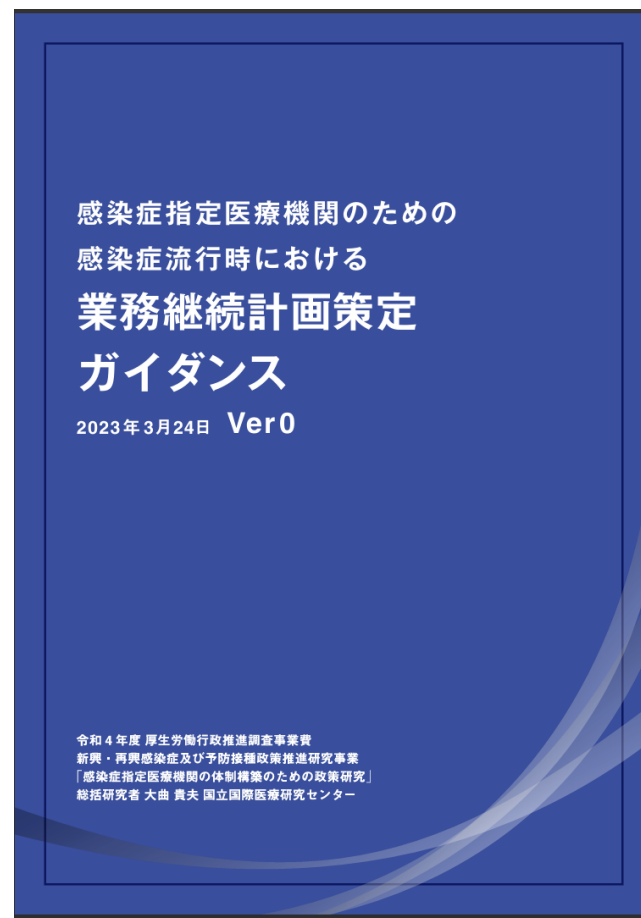
BCP(事業継続計画)

- “BCPとはBusiness Continuity Planの略称で災害などの緊急事態における企業や団体の業務継続計画のことである。”
- “BCP作成の目的は、「医療サービスの提供継続」とともに、「患者の健康・命を守る」および「職員の安全確保」を達成することである。”



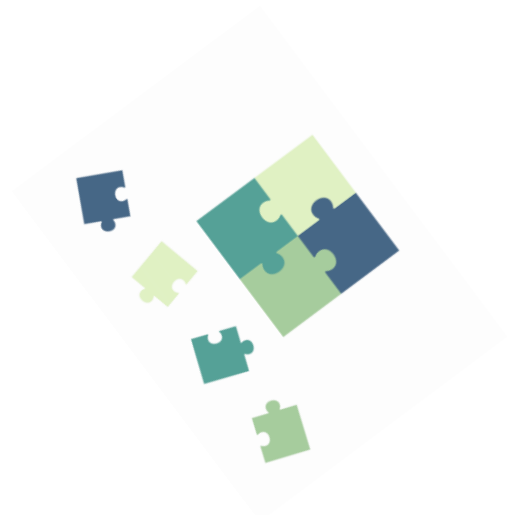
感染症BCPとは

- “感染症のパンデミックでは長期、かつ全国的に流行する恐れがある。このため、自然災害と比較すると外部からの支援が十分に受けられない可能性がある。”
- “また自然災害と比べ、感染症のパンデミックは発生が定義しにくい。このためBCPの発動のタイミングを定めにくい場合がある。”



本日の内容

～感染症BCP策定の歩みと今後～



背景と経緯

KKR(国家公務員共済組合連合会)

連合会病院 : 全国に32病院
施設の規模や機能はそれぞれ異なる

連合会本部 : 感染管理実務者会議

2023年10月 レクチャー「新興感染症に備えたBCP策定について」



各病院で感染症BCP策定に取り組みましょう

背景と経緯

- ・当院の災害時BCPは？
災害時BCPを確認



- ・災害時BCPには
感染症対応が未整備...



感染症BCPの研修などに参加しながら、
具体的手がかりを模索する段階にあった

背景と経緯

2024年10月

・BCP策定促進セミナー参加



・札幌市 医療機関向けの感染症版
BCP策定支援事業への申し込み

- ・感染制御部長であるICDに相談
- ・管理者会議で申し込み許可を得る



策定メンバーと役割分担

- 感染症BCP策定プロジェクトメンバーの決定

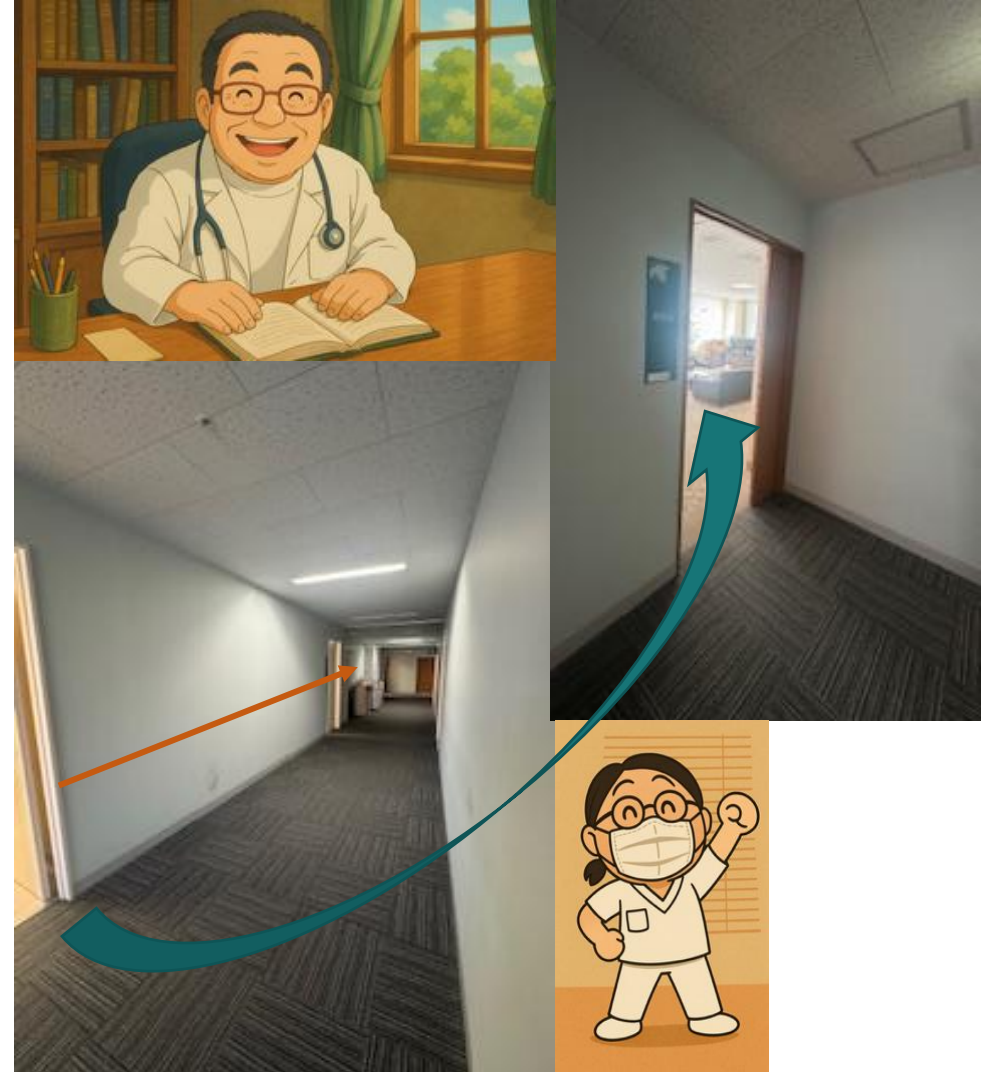
事務員	2名
用度課員	1名
医師:ICD	1名
看護師	2名
ICU師長:災害対策小委員会	
感染管理認定看護師	



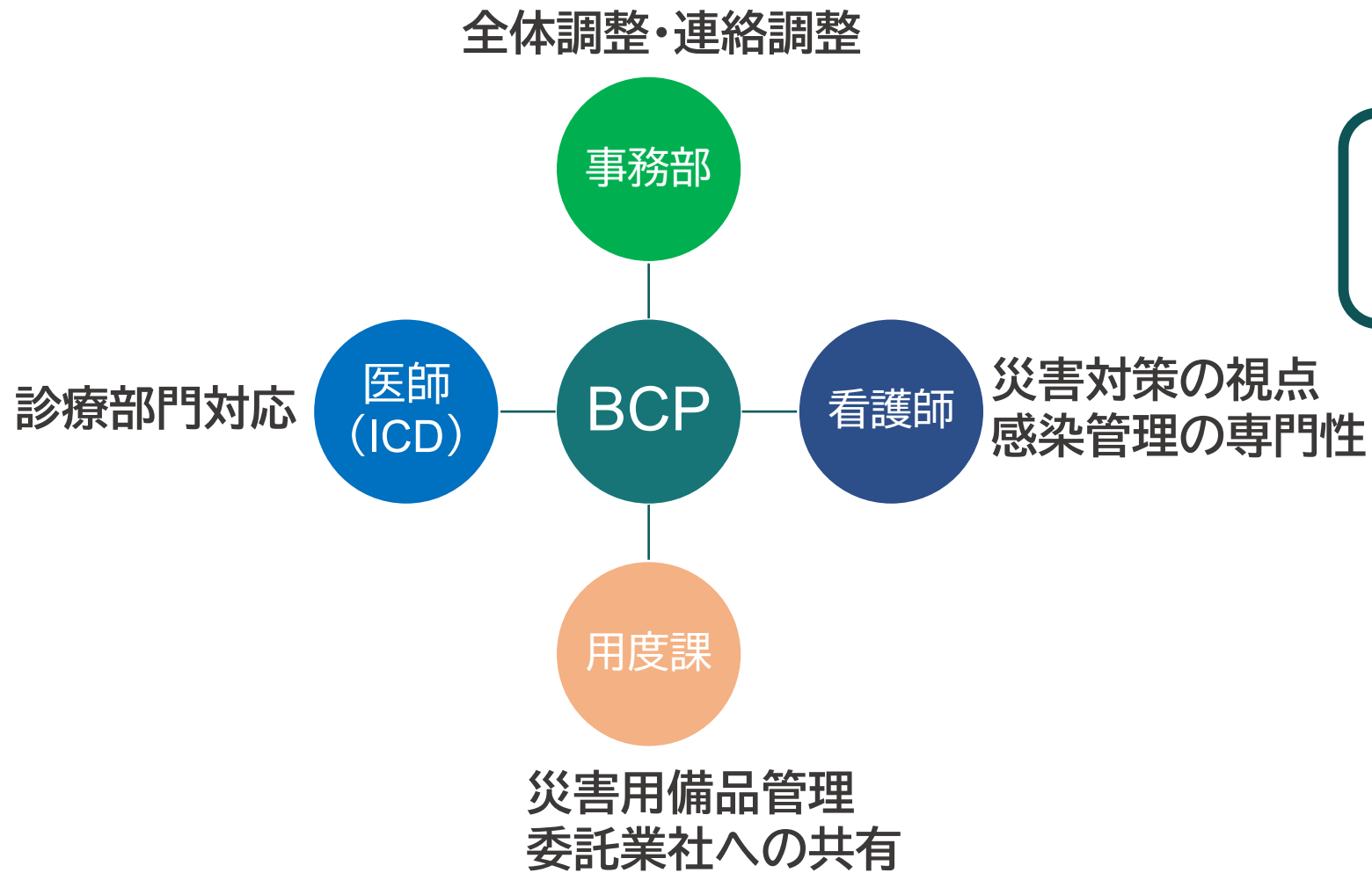
開かれた院長室

院長室の扉は基本的にオープン
職員はいつでも、だれでも訪問可能

看護部内の感染管理室から
院長室まで約30歩



策定メンバーと役割分担



11月、12月、1月の計3回
HIT・アドバイザーの支援を受けました



BCPの内容と役割分担

事務部門担当 看護師担当

目次

1 基本方針

1.1 BCP策定の目的

1.2 事業継続に関する基本方針

1.3 適用範囲

2 未発生期における準備

2.1 感染症対策の体制整備

2.2 教育・研修

BCPの内容と役割分担

3 新興感染症発生時の対応

3.1 流行状況に応じた対応

3.2 インフルエンザ/COVID-19注意警報レベルと院内感染対策一覧

3.3 対策本部の目的と役割

3.4 対策本部設置基準と設置場所

3.5 対策本部の組織体制

3.6 対策本部の解散

3.7 初動対応

3.8 感染防止体制の確立

(病床確保、防護具・消毒液等の備蓄、診療体制の確保、労務管理)

4 BCM(継続的改善)

当院の感染症BCPのポイント

3 新興感染症発生時の対応

3.2 インフルエンザ/COVID-19 注意警報レベルと院内感染対策 一覧

*アレンジして使用可能

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
基本事項	* 健康チェック（37.0℃以上の発熱や感冒症状がある場合は出勤せず所属長へ報告） * 同居家族等に陽性者が発生した場合は所属長に報告のうえ、その後の対応を相談する * 標準予防策の徹底（手指衛生、ユニバーサル・マスキング、環境清掃など） * 入院患者、面会者のマスク着用、手指衛生の徹底 * ルールに則った面会の実施とデイルームの使用				
インフルエンザ	外来検出数1件/月以下 定点報告数1.0未満	外来検出数2件/4週間 定点報告数1.0以上	院内患者発生件数1件（新規・持込） or 同部署職員発生2人/7日	院内患者発生件数10件 or 同部署職員発生10人/7日	
COVID-19	外来検出件数30件/週以下 札幌市定点15.0未満	外来検出件数30件/週以上 札幌市定点15.0以上	院内患者発生件数5件以上（新規） or 持込・新規発生15件以上 or クラスター発生1部署 or 同部署職員発生2人/7日	院内患者発生件数10件以上 or 持込・新規発生20件以上 or クラスター発生2部署以上 or 同部署職員発生5人/7日	
院内の 感染対策	* 職員インフルエンザワクチン接種				
	* 患者インフルエンザワクチン接種推奨				
					* 同室患者など予防投与検討（インフルエンザ）
					* クラスター発生部署入院制限検討
					* クラスター発生部署面会制限検討
			* 同一病棟院内発生3人以上面会禁止	* 臨時ICC開催	
面会	面会のルールに則って面会可能		クラスター発生部署は、病状等から必要な場合に限り、面会可能		
レベル3ならびにレベル4となった場合、終息についてはICT/ICCで判断とする					

当院の感染症BCPのポイント

3.8 感染防止体制の確立

(4) 診療体制の確保

- 多数欠勤時、目安として20%が欠勤の時点で今後の対応について協議しておく。また、各所属長が業務継続困難と判断する場合には、対策本部と当該部署が協議し、他部署から応援を検討する
※応援職員は当該部署の部門長の指揮下に入る

当院の感染症BCPのポイント

3.8 感染防止体制の確立

(5) 労務管理

メンタルヘルス対応

- ・高リスク者の抽出
- ・高リスク者の面談、フォローアップ
- ・定期的にメンタルヘルスケアについて、ポータルサイトに掲示

感染症BCPに
リエゾンチーム
精神科医師が関与



成果と前進

- ・ 防火・防災災害対策委員会
- ・ (下部組織) 災害対策小委員会



両方の委員会に正式に参画



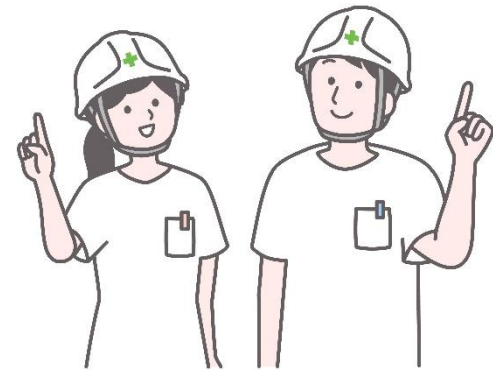
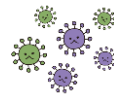
実効性と改善サイクルを保証する体制が確立



今後の方向性

詳細は未定ですが...

今年度の災害対策訓練では、
『トリアージ患者の中に感染症疑い』
というシナリオを導入し、実践的な演習を計画



災害時BCPと感染症BCPは統合せず、それぞれの強みを生かし
ながら、重複部分を整理し実効性を高める

ご清聴ありがとうございました